

あいさつ 19

東浦町長
神谷 明彦



新年明けまして

おめでとうございます。

平成最後の年明けをいかがお迎えでしょうか。

昨年は、町制70周年を記念する年でした。記念式典では、名誉町民の顕彰をはじめ、東浦町出身のBOYS AND MEN 田村侑久さんと声優 小坂井祐莉絵さん出演のPR動画の上映などが行われました。他にも、藤江出身の国文学者 久米常民氏と新美南吉氏との間で交わされた手紙の展示と記念冊子「南吉さんから常民さんへ六通の手紙」の作成や、観光協会主催の「東浦おだいちちゃん検定」の実施、有志による市民映画の制作など、多くの皆さまに支えられてさまざまな記念事業が行われました。

平成30年は、住民の皆さまが大活躍した年でもありました。スポーツ関係では、森岡出身のプロスノーボーダー 國武大晃選手の平昌オリンピック出場、緒川在住の風見尚選手(かざみなお)の男子100km

マラソン世界新記録の樹立、芸能関係では石浜出身の落語家 立川平林さんの真打昇進など華やかなニュースが続きました。

地域に根ざした活動では、一昨年に立ち上がった子ども食堂「はるたま(石浜)」や「みんなの家(緒川新田)」を追うように、飲食が可能な居場所づくりが町内各地で進みました。「地域の縁側グリーン・ラソ」は一周年を迎え、お酒の飲める「夜カフェ」を開催するなど、民間ならではの発想で新たな交流の場となつていきます。行政も地域住民の皆さまとともに、地域の助け合いのしくみづくりに挑戦しつつ、県のあいちオレンジタウン構想への参加や、国立長寿医療研究センターとフレイルチェックを行うなど、超高齢化社会への対応を進めています。

緒川駅前イオンモール東浦やカリモク家具、高層マンションなどの建設では、東浦の魅力ある景観を守り創り育てる「景観計画」に沿った

色彩やシルエツトとなるよう、ご協力をいただきました。また、オープンから30年以上が経った於大公園プールなど、於大公園施設のリニューアルについては、住民の皆さまと意見を出し合いながら計画案を作っています。

昨年は記録的な猛暑でした。これまでは、特別教室へのエアコン設置を優先的に進めてきましたが、子どもたちの学習環境と教員の教育環境の改善を最優先し、今年中に小中学校の全普通教室へエアコンを設置する方針としました。

一方で、温室効果ガスの発生はさらに地球温暖化を加速する原因となります。東浦町では4月1日から、可燃ごみの減量化、住民負担の公平性、財政負担の軽減を目的として、家庭系可燃ごみ処理の有料化を実施します。これは、住民の皆さまのご負担に関わることで、具体的な実施方法やごみ減量化のコツなどをできるだけわかりやすく

説明させていただき、ご理解、ご協力をお願いいたします。

今後のまちづくりにおいて大切な要素は「人と人とのつながり、個人の成長やりがいや生きがいを感じる能力発揮の場」、「自己実現の場」があることです。これらを踏まえ、第6次東浦町総合計画では、将来の町の目指す姿をつくるつながるささえあう幸せと絆を実感できるまち「東浦」としました。計画づくりにあたっては、20年後を見据え「若者会議」を開催するなど、高校生や20代にも参画していただきました。皆さまとともに、まちづくりを自分事ととらえ、人と人が互いにつながり、支え合うことよって、幸せと絆を実感できるまちを目指していきます。

結びに、皆さま方からのご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご 20



東浦町議会議長
山下 享 司

新年明けまして
おめでとうございます。

皆さまには健やかで希望に満ちた新春を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。また、日頃から町政ならびに議会活動に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、昭和23年6月に東浦町が誕生してから70年という節目の年でした。於大まつりや産業まつりなどに東浦町制70周年記念の様々なイベントが盛り込まれ大変な盛況ぶりでありましたことは、住民の皆さまのお力添えによるものと感謝をいたしますとともに、この70年間の町の発展を皆さまとお祝いすることができたことを大変うれしく感じております。

また、昨年は大阪府北部北海道胆振^{いづか}東部での大地震が発生、記録的暴風であった台風21号の上陸や、各地

で40度を超える記録的猛暑など本町にも影響を与えた記録的気象現象があり、喫緊の事業として町内小中学校の普通教室へのエアコン設置に議会も賛同いたしました。それ以外にも平成30年7月豪雨(西日本豪雨)などの激甚災害も合わせ様々な気象現象が発生しており、単に異常現象だと片付けられるものではなくなっております。災害などに対する備えは常に先行していくのが理想的でありますので、想定できるものについてはできる限りの対応をしてまいります。

さて、今年の国内経済は、米国景気などの好調な追い風もありますが、中国経済の成長鈍化などの影響で先行きは不透明であり予断を許さない状況であります。また、消費税^{消費税}率10%引き上げの予定もあり行政の真価が問われるときでもあります。

そのような状況のなか、いよいよ「つくる つながる ささえあう 幸せと絆を実感できるまち 東浦」を目指す第6次東浦町総合計画も基本構想が定まり、今年4月から始動いたします。総合計画は町の最上位計画であり、これからのまちづくりの20年を見据える長期的な計画です。少子高齢化が進む中、課題も多いたるところですが議会といたしましては、まちづくりの主役である住民の皆さまともに行政と協力し、幸せが実感できるまちづくりを常に念頭におきながら全力で進めてまいりたいと考えております。

また、今年は選挙が多い年となりますので、住民の皆さまの審判を仰ぐ年とも言えます。2月には愛知県知事選挙、4月には愛知県議会議員一般選挙、東浦町議会議員一般選挙、そして夏頃には参議院議員通常選

挙、東浦町長選挙と続きます。議会といたしましても、皆さまから信頼を損なうことのないよう、立候補者がクリーンで明るい選挙活動を行うよう推進してまいります。

東浦町議会におきましては、これから議会改革を進め、住民の皆さまの信頼に応え、活力あふれる議会活動を実践し、議事機関としてのあり方を追究し、議員一同が心を一つにして真摯に取り組み、町政の課題解決に全力を尽くして参りますので、本年もより一層のご理解、ご支援をお願い申し上げますとともに、あわせて皆さまのご健勝、ご多幸を祈念して新年のご挨拶といたします。

